



あさくち

市議会 だより

平成22年6月定例会

No.6

平成22年8月1日発行

【主な目次】

補正予算9億1,333万円を可決・……	P2
委員会レポート・……	P6
特別委員会の構成・……	P7
議員10名が市政を問う・……	P8



阿藤伯海記念公園の大賀ハス(片山圭右氏撮影)

平成22年度 補正予算 総額9億1,333万円を可決

一般会計	4億7,947万円
特別会計	3億8,908万円
水道事業会計	4,477万円

▶ 補正後総予算額

総額249億5,461万円（対前年6月比5.2%増）

一般会計	139億 347万円	（対前年6月比13.0%増）
特別会計	101億5,018万円	（対前年6月比同 率）
水道事業会計	9億 96万円	（対前年6月比28.9%減）

市長・市議会議員の改選後、初めての本格審議となる6月定例会を6月15日から30日までの16日間の会期で開催しました。

初日には議会運営委員会で発議した広報特別委員会、鴨方駅周辺整備調査特別委員会、国道2号バイパス及び主要道路整備調査特別委員会、上下水道整備調査特別委員会について審議し、賛成多数ですべて設置することに決定しました。続いて、議会が推薦する農業委員4名を推薦しました。

また、議員から議員報酬を10パーセント減額する条例改正案が提出され、6月23日に審議しましたが、賛成少数で否決しました。そして、予算の繰越計算書3件と長期契約の締結の報告を受け、人権擁護委員1名を適任としました。

最終日には、子どもの医療費無料化の対象を中学3年生までに拡大する条例改正案など7件、補正予算案6件をそれぞれ可決しました。

陳情2件については、いずれも継続審査としました。

改選後初の定例会

6月定例会を開催

補正予算審議

● 一般会計補正予算

歳入の主なもの

- 保育園保育料
保育料の保護者負担金を軽減するため △1,000万円
- 幼稚園使用料
幼稚園使用料の保護者負担金を軽減するため △160万円
- 地方交付税 1億円

歳出の主なもの

●総務費	ワンコインバスの運行に関する調査業務委託料	600万円
●衛生費	子ども医療費について無料化にする対象を中学校3年生までに拡充するための追加費用	1,698万円
	住宅用太陽光発電設備補助金を50基分追加するため	1,400万円
●農林水産業費	農道等16路線の改良及びため池3箇所などの改修事業	1億2,618万円
●土木費	市道新設改良事業（19路線）	1億 106万円
●教育費	学校給食センター備品（熱風消毒保管機など）購入費	1,199万円

● 特別会計補正予算

●国民健康保険特別会計	受診勧奨など、特定検診未受診者対策及び医療費節減にむけた保健指導をおこなうための予算	448万円
●介護保険特別会計	高額介護サービス費追加など	345万円
●公共下水道事業特別会計	污水管敷設工事費など	3億6,613万円
●工業団地開発事業特別会計	工業団地計画の見直しのための造成概略設計業務委託料	1,500万円

● 水道事業会計

●下水道関連工事、消火栓工事など	4,477万円
------------------	---------

議案質疑

問 桑野和夫議員

工業団地事業にかかる委託料1500万円について、詳細を教えてください。

また、景気の悪化などにより、昨年度は2億円の減額補正をしています。この事業は失敗すれば財政悪化を招きます。慎重に行うべきだと思いますが、見解をお示しください。

答 松田産業建設部長

現在の工業団地は百数十億円規模のものであり、事業の推進は困難。分割しての造成や造成順序、また造成方法などをさまざまなパターンを想定した概略設計を行い、市の体力に見合った計画を考える材料とするものです。

答 田村副市長

昨年は景気の悪化に伴い、工業団地の造成について進度を調整する意味から執行していません。内容を検討し事業費を少しでも少なくしたい。市の負担にならない方法を検討し、進めていきたい。

条例

- 浅口市乳幼児医療費給付条例の一部を改正する条例

【原案可決】
子どもの医療費を無料にする対象を10歳未満から中学3年生までに拡大するための条例改正で、「浅口市子ども医療費給付条例」に題名を改めるものです。なお、この条例は10月1日から施行されます。



中学3年生まで拡大

- 浅口市国民健康保険条例の一部を改正する条例

【原案可決】

国民健康保険法などが改正されたことに伴い、引用条文を改めるものです。

- 浅口市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決】

- 浅口市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決】

- 浅口市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【原案可決】

- 浅口市行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例

【原案可決】

- 岡山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び岡山県市町村総合事務組合規約の一部変更

【原案可決】

報告

- 平成21年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書

- 平成21年度公共下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書

- 平成21年度水道事業会計予算繰越計算書

一般会計は8億6503万8千円、公共下水道事業特別会計は1億6310万円、水道事業会計は5700万円をそれぞれ本年度に繰り越しました。

- 長期継続契約の締結

市役所本庁舎などに設置する複合機、印刷機のリースについて平成27年まで契約します。

人事案件

- 農業委員会委員の推薦

議会が推薦する農業委員会委員については、次のとおり4名を推薦しました。



原 彰



柚木 毅



中西 美治



藤澤 健

- 人権擁護委員の推薦についての意見

議会の意見として、守屋加代子氏（鴨方町鴨方）を適任としました。

任期は平成22年10月から3年間です。

議員発議

市議会議員の報酬減額案は否決

- 浅口市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

【否決】

井上邦男議員を提出者に、畑中知時議員、青木光朗議員、加藤淳二議員を賛成者として、平成23年3月まで市議会議員の報酬を10パーセント減額する条例改正案が提出されました。

井上議員は市長、副市長、教育長が報酬を20パーセント減額している。また、昨年には職員の給料もカットしているため、議員も市の行財政改革に協力するべきであると提案理由を説明しました。

その後、起立採決を行い、賛成少数で否決となりました。

特別委員会を設置

- 広報特別委員会の設置

- 鴨方駅周辺整備調査特別委員会の設置

- 国道2号バイパス及び主要道路整備調査特別委員会の設置

- 上下水道整備調査特別委員会の設置

【原案可決】

議会運営委員会より、4つの特別委員会の設置について提案されました。広報特別委員会

外の特別委員会については意見が分かれ、活発に質疑・討論が行われました。

採決では、賛成多数ですべて設置されることになりました。質疑討論の概要は次のとおりです。

質疑

問 井上邦男議員

広報以外の特別委員会について、特別委員会は新たに何かするために設置するもので、あまり必要がない気がします。具体的に調査をどのように行いますか。

答 中西美治議会運営委員長

議会運営委員会では、議長の諮問により特別委員会の設置について協議しました。詳しい審議内容は設置された特別委員会で細かい中身を検討してほしい。調査すべき重要な問題、課題があると考えています。

問 加藤淳二議員

細かい内容は決めていないとのことだが、2年前廃止した駅の橋上化と2号バイパス特別委員会との違いも決めていないのですか。

答 中西美治議会運営委員長

特別委員会の詳細な協議事項については議会運営委員会では協議していません。

反対討論

桑野和夫議員

議会運営委員会では多数決で発議が決定されました。特別委員会の設置は議会にとって重要な案件であり、全会一致で設置するべきです。引き続き議論すべきと考えます。

井上邦男議員

4年前に特別委員会を設けましたが、2年間でやめています。この2年間は常任委員会で審議してきました。すでに工事が進んでいる事業もあります。必要性がなく、税金の無駄使いです。

加藤淳二議員

詳細な審議内容はつきりさせてから設置するべきです。産業建設委員会できちんと討論してから設置するべきです。

道廣裕子議員

広報を除き、3件とも産業建設常任委員会の所管です。議会の活性化は常任委員会と皆さんの要望を伝えていくことではかられていくものと思います。

賛成討論

田口桂一郎議員

市民の皆様の関心がある重要な事柄について、特別委員会を設置し、専門的調査・研究をして市民の負託に応えることは議会に課せられた責務と考えます。経費についても無駄な支出をするわけはありません。

大西洋平議員

国道2号バイパスを始め、たいへん重要な問題です。常任委員会の審議は多岐にわたり、大規模事業などを審議するには不十分です。特別委員会で詳細に調査するべきです。

柚木毅議員

国道2号バイパス、上下水道、鴨方駅周辺整備事業は浅口市の発展に影響する重要な事業です。特別委員会を設置し、市民のために働くことが議会人としての責務です。

原 彰議員

市長・副市長も変わり、数ヶ月の間に状況が大きく変化しました。事業の方向性を確かなものにするために、特別委員会で我々は一生懸命研究調査していく必要があります。

香取良勝議員

全員で議会運営委員会に任せました。議会運営委員会で決定した事項であり、賛成するべきです。

委員会レポート

総務文教常任委員会

● 5月25日

市内の公立中学校3校を視察し、学校長から各学校の状況や教育目標、課題などについて説明を受けました。

また、執行部から旧町間で制度の異なる安全灯・防犯灯について、本年度中に旧金光町の制度を基本に統一するとの報告を受けました。



寄島中学校を視察（5月25日）

● 6月24日

付託された議案審査については、条例改正案など5件と補正予算案1件について審査し、すべて可決すべきものと決定しました。

民生常任委員会

● 5月24日

金光し尿浄化センター、鴨方リサイクルセンター、寄島竜南保育園を視察し、担当者から、施設の概要や運営状況などの説明を受けました。

また、ごみ処理広域化対策西部ブロック協議会総会において、関係市町で本年度中に10箇所ほど新たなごみ処理施設の建設候補地の選定を行い、平成

24年度を目標に最終建設候補地を決定する事となったとの報告がありました。



鴨方リサイクルセンターを視察（5月24日）

● 6月25日

委員会付託された、条例改正案2件、補正予算案3件について審査し、すべて可決すべきものと決定しました。

産業建設常任委員会

● 5月28日

鴨方駅南洪水調整池、寄島漁港、金光町大谷地区の国道2号バイパス工事現場を視察し、それぞれ担当者から説明を受けました。



国道2号バイパス工事現場（金光町大谷）を視察（5月28日）

● 6月28日

委員会付託された補正予算案4件について審査し、すべて可決すべきものと決定しました。

特別委員会の構成

特別委員会を設置し、それぞれ委員長、副委員長を互選しました。委員会構成は次のとおりです。（広報特別委員会
は裏表紙に掲載しています。）

上下水道整備調査 特別委員会



副委員長
藤澤 健



委員長
大西 恒夫

委員
〃 〃 〃 〃
大西 高橋 香取 中西 平田
洋平 範昌 良勝 美治 襄二

上水道の受水先及び下水道の整備計画等について調査します。

国道2号バイパス及び 主要道路整備調査 特別委員会



副委員長
柚木 毅



委員長
竹本 浩司

委員
〃 〃 〃 〃
高橋 香取 田口 大西 藤澤
範昌 良勝 桂一郎 恒夫 健

国道2号バイパス及び主要幹線道路の整備促進等について調査します。

鴨方駅周辺整備調査 特別委員会



副委員長
原 彰



委員長
大西 洋平

委員
〃 〃 〃 〃 〃
道廣 田口 桑野 竹本 佐藤 伊澤
裕子 桂一郎 和夫 浩司 正人 誠

鴨方駅及び南北駅前（ＪＴ跡地を含む）の整備について調査します。

● 上下水道整備調査特別委員会
6月23日
上水道事業の受水先の統一は、合併当時から課題で現在も協議中です。
下水道事業については、平成21年度に構想の見直しを行い、地域ごとに下水道接続と浄化槽設置のどちらが有利であるかの判断を今後進めていかなければならないとのことでした。

● 国道2号バイパス及び主要道路整備調査特別委員会
6月28日
金光町大谷地区と須恵地区は用地買収・補償等もほぼ完了し、現在バイパス道路の工事が進んでおり、平成28年度の完成を予定しています。佐方地区以西の区間については、昨年度に六条院中・西地区の測量調査等が完了し、今年度からは国と地元地権者が設計協議を行う予定であるとのことでした。

会期中に特別委員会を開催し、それぞれ執行部より説明を受けました。
● 鴨方駅周辺整備調査特別委員会
6月22日
鴨方駅の新駅舎、南広場、南北自由通路は本年度中に完成し、来年度以降は北広場の整備を進めるとともに、国道をまたぐ自由通路と旧福本屋跡地の整備計画を策定する予定であると説明を受けました。

一般質問

議員10名が市政を問う！

6月定例会では、10名の議員が一般質問を行いました。

なお、一般質問の記事は質問した議員が作成した原稿に基づき掲載しています。

市の基本計画は市長の 考えと合っているのか

問

新市建設計画・浅口市総合計画・都市計画マスタープランは、市長の市政方針と合っていますか。

答

栗山市長

市の発展と市民の福祉増進のための施策を掲げているわけですから、私の公約と基本的には相違ありません。



加藤 淳二議員

合併特例債事業の今後は

問

合併特例債事業は、今後どのようにするのですか。

特に、特例債事業、総合計画の中に位置づけられている金光駅周辺整備は、メイン事業として取り組んでいきますか。

答

栗山市長

特例債事業は、将来の財政状況をしっかりと見通しながら、緊急性、投資対効果等を総合的に勘案いたしまして実施してまいります。

金光駅に関しましては、金光町の代表する表玄関でありながら、トイレもゴミステーションもありません。整備がおくれていますので、特例債事業とかではなしに、そういう方面は、整備を進めていきたいと感じております。



整備が望まれる金光駅前



香取 良勝議員

新栗山市長に公約を聞く

問

公約は市民との契約書を交わした事であり、公約違反をした時には詐欺だ。市民に落胆させない行政をして頂きたい。市長の考えをお聞かせ願いたい。

答

栗山市長

子育て支援王国実現、子供医療無料化、保育料、幼稚園使用料の軽減、市議会、市民の皆様と一緒に頑張って頑張りたい、よろしく願います。

公営墓地について聞く

問

公営墓地について前市長は二十年間手をつけず、公約違反を何回もされたが栗山市長は市民の願いを叶えられるか。ゴミ捨て場の迷惑施設と称して畑中墓地に行く道を上からと下から、金額で億の金を個人の墓地に使用しているのに、何故、前市長は公営墓地は出来なかったのか。公営墓地は市民悲痛の願いである。是非若い栗山市長の力を発揮して頂きたい。市長はどの様に考えているのか。

答

栗山市長

非常に緊急の課題であると認識している。宗教法人による墓地造成の具体計画が今はないと伺っています。今墓地を希望されている世帯が四三〇世帯高齢の為に十年以内に購入したい世帯が8割、早急に整備可能地域を選定、区画数について検討を行い、私の期間中に何とかお待ち頂いている市民に市営墓地を使用して頂けるよう整備を行ってまいります。前の市長は公約をしながら出来なかったからお前も出来ないのか、今はもう変わりました。期待して頂きたい。

血税は無駄に使うな!

問

市長、副市長、教育長、シルバーセンター、社会福祉協議会の経費を約3千万円削減、市長

答

栗山市長

に対し敬意を表します。前市長はチャリティー歌舞伎に三百万円ボン、石原良純に1時間、良純の家庭の事を1時間話しただけで百万円ボーイと出した。市民の税金だ!最小の金で最大の効果を上げて頂きたい。市民の血税を最大限に使うのが市民の奉仕者であると思うが今後、この考えを最後まで市民の為に貫いて頂きたい。市長の考えをお聞かせ下さい。

前町長との悪政は!

問

前畑中町長との仲が大変良い、市長に当選したら一緒に頑張って悪政を働くのではと懸念を持っている市民がいるが市長の考えは。

答

栗山市長

私は市政を進めていく上で、特定の人と仲がいいとか、そうでないとかによって自らの政策が左右されることはありません。また、決してそうであってはならないというふうに思っております。浅口市を引き継ぐ為、市民の幸せを第一に全身全霊を尽くす。市長としての職責を果たす。これが私の政治姿勢であります。



佐藤 正人議員

子ども医療費 中学校卒業まで無料化へ

問 子ども医療費の中学校卒業までの無料化については子育て世代にとって非常に待ち望んでいる子育て支援策であります。「子育て王国 浅口」構築のワンステップとなるための実現をお願いします。

答 栗山市長

子供は未来の宝物であります。未来を担う人材への投資こそが夢や希望にあふれる新しい浅口市を創造するものと確信しております。子ども医療費の中学校卒業までの無料化につきましては、市民の皆様の要望が非常に強い分野ですので、本年10月から実施をいたします。

ヒブワクチン接種費用の 公費助成制度を

問 ヒブとはインフルエンザ菌の中で最も病原性が高いインフルエンザ菌b型の略です。このヒブの感染のうち最も恐ろしい病気は乳幼児の細菌性髄膜炎であり、その感染予防に最も効果があるのがヒブワクチンです。しかし、このヒブワクチンの接種費用は1回あたり7～8千円。必要とされる最高4回分を接種すると自己負担が3万円前後と非常に高額であります。市として助成制度の導入を要望します。

答 安田健康福祉部長

助成による継続的な財政の負担、県内自治体の取り組み、またワクチンの流通状況等を考え、現段階ではもう少し検討させていただきます。

ワンコインバス運行の ビジョンは

問 市長さんの公約でありますワンコインバス導入のビジョンをお聞かせ下さい。今後、デイマンド方式の選択もありますか。

答 栗山市長

最初の取り組みとして、7月に市内全世帯を

対象にアンケート調査を実施します。地域別にニーズを把握し、出来るだけ市民の皆様の要望に沿った形にしたいと考えています。また、現在考えていますワンコインバスは、地域を細かく巡回するものを想定しておりまして、デイマンド方式ということは今予定にいたしておりません。



市内を走る井笠バス

善行者への幅広い 表彰制度の導入を

問 今後のコミュニティーの課題でもあります、協働のまちづくりの観点からも市民の皆さんの善行に対して積極的に表彰して頂ける制度を作って頂きたいと思えます。

答 栗山市長

功績や善行を積んでおられる方々を幅広く表彰するということは、善行の輪が地域全体に広がるきっかけにもなり協働のまちづくりにも非常に役立つと考え、近く実施したいと考えております。



柚木 毅議員

小学校の通学路の 危険個所の点検を

問

子供たちの通学の安全・安心のために地域で子供を見守る活動をボランティアで多くの皆様にとっても熱心に行っていたいております。小学校の通学路が車道部分と併用しておりカーブの幅員が狭く危険で、事故が起こりかねないのご指摘いただいております。

子供たちの通学路などで危険な個所の改善要望、安全施設の設置要望等がございましたら、道路管理者と担当課で協議し、安全な通学路にしていたくようお願いいたします。

答

筒井教育次長

小学校の通学路につきましては、安全確保には警察をはじめ関係機関に御協力をいただきながら、安心・安全に通学できるよう取り組んでいるところでございます。自動車等交通量の多い道を通学路とせざるを得ない場合もありますので、市内各学校においても日常の登下校等での指導等を通して危険個所の確認を行いつつ、対応が必要な場合には教育委員会を通じ、関係担当部署等への対応、検討を依頼して、標識看板等、即時に対応可能なものにつきましては随時設置等の安全措置を行っております。

日々の通学路の点検とともに少しでも危険個所が解消されるよう関係機関のご協力をいただきながら取り組むとともに、子どもたちへの交通安全指導強化にも努めて参ります。

災害発生時の浅口市 災害対策本部について

問

集中豪雨や台風の時期でもあり、この時期を迎えるに当たり、もし災害が発生した場合や災害が予測される情報等が入ってきた場合に、市として、災害対策本部を設置して対応できるようにになっているのでしょうか。消防団をはじめ、関係機関との連携のためにも連絡網など日頃からの準備が大切と思います。

答

櫛田企画財政部長

災害発生時の対処方法に関し、風水害と震災に分けて取りまとめた浅口市地域防災計画、さらに津波についての浅口市津波避難誘導計画を策定しております。災害対策本部については、災害対策基本法、浅口市災害対策本部条例に基づき設置することとされており、いわゆる大規模災害が発生した場合を想定しているものです。県との連携による全庁的な図上演習を実施しており、関係機関との連結、連携についても訓練したところであります。



浅口市総合防災訓練時の災害対策本部



中西 美治議員

市政方針に関連して

問 市民が主体となる市政、市民の力が活かせる市政の仕組みづくりの中身についてお聞かせください。

答 栗山市長

市民が主体となる市政というのは、役所からの情報が市民に届き、市民の意見や要望に積極的に耳を傾け、市民ニーズを的確に捉えていくこと、市民をはじめ町内会、自治会などの自治組織との協働によって市政を推進していくと言いうことであります。

子ども医療費給付事業の拡大について

問 部長の答弁ではこの事業は継続はしていききたいが財政状況も見ながらということでしたが、自主財源でやっていく見通しについてお答えください。

答 安田健康福祉部長

多額の一般財源を持ち出すことになるが、財源確保については行財政改革等により捻出していく方向で考えています。

行財政改革について

問 各種団体や事業への補助金の交付基準や運用規程の見直しについてのご所見をお聞かせください。

答 栗山市長

今後徹底した行財政改革を行ない、より詳しい補助金交付基準を策定し、真に必要な補助金であるか、補助金の額が適正か、団体運営補助金については一定の期間を設けるなど見直しや廃止を徹底したい。今後は市民の視点から市の事業を見直す市民参加型の事業評価委員会を設置し、事業仕分けに着手します。

総合支所の抜本的な見直しは？

問 市長は総合支所のあり方の見直しの是非についてどのようなご見解をもっておられるのかお伺いいたします。

答 栗山市長

現在の総合支所体制は、合併協定に基づき住民サービスの低下を招かないことを目的に総合支所方式を採用し、設置しているものです。しかし現状は、本来の機能を十分に果たせていないのではないかと、サービスについて不満の声も多くあり、本庁と支所の機能の徹底した見直しを行う必要があるのではないかと、浅口市は県内で最もコンパクトな市であり、行政効率や行政コスト面からみれば、将来的には機能縮小の方向が望ましいのではないかと考えています。総合支所設置は合併協定の合意であり、今後市議会や市民のみなさんと協議、検討するなかで見直しを推進すべきものと考えています。



桑野 和夫議員

高すぎる国保税を下げしてほしい！

問

国保税が高すぎて、払いたくても払えない、また大変苦労しながら払っている家庭が増えています。国保の制度は、国や地方自治体が増えるパスポートとして支えていくことが求められています。払えるかどうかで保険税が算定されていないのが現状です。国保が貧困を拡大することのないように、高すぎる国保税を下げしてほしい。

答

柚木生活環境部長

医療費を削減できれば保険税も低く抑えることができます。被保険者の方も運動したり、食生活を改善するなどして御自身の健康に十分注意していただきたい。現在、国保会計は厳しい

運営状況で、今後とも医療費の推移を考慮しながら、慎重に検討させていただきたい。

緊急通報システムでの電池交換等の費用は市で負担を！

問

機器そのものは貸与でありながら、電池交換等の費用は本人負担になっています。弱者救済の面からも市で負担する措置をとってほしい。

答

安田健康福祉部長

消耗品なので、受益者負担という考えで利用者負担とさせていただきたい。

いきいき体操は市が責任を持って実施を！

問

いきいき体操は、運動指導や健康講座などを無料で行い、二百人を超える高齢者が登録している人気の事業で、やめないでという声があります。必要な事は市でやってほしい。

答

安田健康福祉部長

発展的な解消で、今後運動サポーターの養成を行い、地域に広めていきます。

JR金光駅南口での改札を！

問

利用者アンケートでも要望の多い南口での改札についてJRとの協議はどう進みましたか。

答

安倉理事

複数の改札口はコスト削減という会社の方針に逆行し、また東側には市の自由通路があり、ハードルが高いと言われています。

答

栗山市長

トップセールスとして、JRに要請してまいります。



改札の設置が望まれる金光駅南口



大西 恒夫議員

アッケシランドについて

答 栗山市長

アッケシソウは、浅口市の天然記念物であり、誇りであります。今後もアッケシソウを守る会の皆さんの力をおかりして、きちんと保護、保存を図っていくことが大切です。網走市の「さんご草祭り」の視察については機会があれば御一緒させていただきたい。

問

寄島アッケシソウは、絶滅危惧種で本州唯一最大の自生地です。昨年は岡山県景観百選に。また、「寄島アッケシソウを守る会」が岡山県民文化大賞を頂いた。市としてどのような方向に持って行かれるのか、網走市の「さんご草祭り」を視察に行かれては。

答

松田産業建設部長

昨年のアンケート調査で、現地までの案内が少ない、食事や観光に関する情報がほしい、飲み物やお土産等の販売がないなどの意見がありました。その対策として、案内誘導看板の充実や市内のグルメマップ、観光地周辺ウォーキングマップ、また観光ののほり、商工会などの協力を頂き土産物の開発をします。見学に来られた方々に少しでも長く浅口市を探索していただきた。



アッケシソウを守るボランティア

答 櫛田企画財政部長

平成19年3月策定した。二回専門の講師を招いて職員の研修をしました。

問

職員の接客マニュアルと机の向きについて。

市民との接客について

答 栗山市長

机の向きについては、これから順次適切なレイアウトをします。

問

3町同時開催イベントと夏祭りを一元化しては。

答 栗山市長

現段階では三つのイベントを同時に開くのは非常に難しいが、おもしろい発想だ。夏祭りの一元化は、今年の様子をみながら考える。植木組合、手延べ麵協議会、漁業組合など各種団体の意見を聞き、今後のイベントのあり方を考える機会を設けていけばと考えております。

新教育長の抱負について

問

新教育長の抱負を。

答 城山教育長

第一に学校教育の正常な推進、第二に生涯学習の充実した社会の実現です。



井上 邦男議員

海外交流事業について

問 今まで実施してきました海外交流事業及び新たに計画されている韓国との交流計画についてのお考えをお聞きたい。

市長には、このたびのご当選おめでとうございます。市財政の厳しい折、これから大変ご苦労をなさると思いますが、お互いに協力しながら頑張っ

問 今年の夏祭りは、3町1本化にして実施されるとのこと、大きな経費節減になると思われます。加えて市民体育大会も3町1本化にしたい。更

市民体育大会も一本化に

答 栗山市長
オーストラリアのテイツリーガリー市、中国の高安市とは、合併後も相互理解と友好を深めるための事業の一環として、海外派遣研修事業を実施しています。特に中学生の海外派遣には力を入れて取り組みたいです。韓国との交流については、議会と相談しながら進めていきたい。



一本化で実施される夏祭り

市議会議員の報酬カットについての見解は

問 昨年11月には市職員の給与0.2%、ボーナス0.35%削減が実施され、更に4月には市長・副市長・教育長の報酬20%削減と、行財政改革に懸命の努力をされていることに対して、我々市議会議員も報酬10%ぐらいの削減という協力をすべきだと思います。このことは多くの市民の声でもあります。市長の見解は。

答 栗山市長

国や地方自治体の財政の厳しさが言われている中、行財政改革は私のマニフェストの柱。私が率先して実行し、行政の無駄をなくしたい。議員の報酬カットについては、議会において相談をしていただきたい。

答 栗山市長
夏祭りの1本化については、予算の軽減や準備の効率化等のメリットがあります。その他の行事については、それぞれの評価、目的等を考慮し、更に地域の歴史や伝統にも配慮し市民の方々とも協議して、今後の事業のあり方を検討していきたい。



道廣 裕子議員

子宮頸がんワクチンへの助成を

問 子ども達が将来安心して子どもを生み育てるためにも早目の検討をお願いしたい。

答 安田健康福祉部長

昨年12月発売のワクチンで、子宮頸がんの原因となるウイルスの感染予防に有効だと期待されています。

10歳以上の女性を対象で、早期接種が望ましく、費用は3回分で5万円弱です。全額負担の場合、一学年につき7～800万円かかるので慎重に検討させていただきます。

通学路の改良は

問 鴨方東小学校の通学路の改良の進捗状況は。

答 栗山市長

登下校の子ども達の安全、安心の確保は大変重要であり、今後、家庭、学校、地域総ぐるみで安全なまちづくりを進めていきたい。

答 筒井教育次長

PTAや地域の方が安全確認をしてくださり、通学路の変更をいたしました。



変更された通学路

住宅リフォーム等小規模工事への助成制度を検討してはどうか

問 職人さん達も仕事がない、一方、市民は小規模のリフォームの希望はある。そこで地域経済

活性化の為に希望者に助成制度を導入したらどうか。

答 松田産業建設部長

近隣でも行なっているということなので研究してみたいと思っています。

住みたい街の条件は国保の引き下げと公共交通網の充実を

問 国保会計の繰越金は、18～21年度まで毎年2千万円位増加しており、現在の繰越額は4億6千万円（5千500世帯）です。

単純計算で5千500万円あれば1万円の引き下げは可能です。引き下げてはどうか。

答 柚木生活環境部長

単年度収支は、ほぼ横ばいです。月に約2億3千万円という経費がかかり、推移を見守らせていただきます。

問 交通網の整備で、600万円の調査費の内容は。

答 櫛田企画財政部長

実際に利用する人に回答をいただき、ニーズに合った便数・コース等を検討したい。



畑中 知時議員

職員の意識改革について

問

「逃げない ぶれない」市政の実現が、浅口市の発展に極めて重要です。職員が活き活きとして、自由にモノの言える職場となるよう、市役所の正常化に取り組んでいただきたい。どちらが正しいのか、何が間違っているかは、職員が一番よく知っています。その職員がモノ言わぬ職員では、市の将来はありません。百数十名の優秀な職員が一致して市のために頑張る、市長はそれをバックアップすると、こういう姿勢を示してほしい。職員にやる気を持ってもらうため、責任だけでなく権限を与える。また、一生懸命やっても失敗することもあるだろうが、そのときは市長が責任をとる。このことが市長

と職員の信頼関係を保つことになると、市長は言われている。この言葉を信じています。ぜひ実現していただきたい。

答

栗山市長

まじめに一生懸命働く職員を、不当で理不尽な要求や攻撃から守るのが、市長の役目です。浅口市には現在、コンプライアンスに関しての条例がありません。条例づくりをぜひやりたい。職員が意欲と自信を持って行政事務に邁進できるように、私が先頭に立って取り組みたい。

金光一般廃棄物

最終処分場について

問

地元である下竹がいわれのない誹謗中傷を受け住民は非常に憤っています。 unnecessary 事業と思うなら、協定書を解除すればよい。何度も繰り返し質問はしたくない。市としてここで明確な考え方を示してほしい。



金光一般廃棄物最終処分場

答

柚木生活環境部長

市側の事務処理の進め方に問題があったものの。必要な事業であるので、下竹区の協議会と今後も協議をしていきたい。

企業誘致について

問

企業誘致は、若い世代の皆さんの新規雇用の創出に大きく寄与し、市の財政基盤の確立につながります。金光町佐方地区は交通網やインフラ整備が進んでおり、国道2号バイパスの建設促進とあわせて、環境への負荷が非常に少ないミクロもののづくり企業団地に積極的に取り組むべきです。

答

栗山市長

自らのトップセールスで企業誘致を行ってきたい。浅口市の優位性を活かしながらも、市の体力にあった計画にしていきたい。

9月定例会の予定

会期：9月7日(火)～9月24日(金)

主な日程

(全て9:30分開会)

- 7日：本会議（市長の政務報告、議案上程）
- 13日：本会議（一般質問）
- 14日：本会議（一般質問）
- 15日：本会議
（一般質問・議案質疑・一部採決・委員会付託）
- 16日：総務文教常任委員会
- 17日：民生常任委員会
- 21日：産業建設常任委員会
- 24日：本会議
（委員長報告・質疑・討論・採決）

※傍聴をご希望の方は、当日、市役所3階議会事務局で、傍聴券をお渡しします。お気軽にお越しください。

※上記日程は変更となる場合があります。

広報特別委員会



副委員長
伊澤 誠



委員長
中西 美治



桑野 和夫



平田 襄二



佐藤 正人



道廣 裕子



柚木 毅



原 彰

広報委員会は、条例に基づく特別委員会として議会だよりの編集・発行を行います。

皆様のご意見をお待ちしています！

広報特別委員会では、市民の皆様のご意見・ご感想をいただき、今後の市議会だよりづくりに役立てていきたいと考えています。

あて先

浅口市議会事務局

〒719-0295 浅口市鴨方町六条院中3050番地
電話(0865)44-7010
Eメール gikai@city.asakuchi.lg.jp

声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、**鴨方**はるか会のご協力により、議会だよりを音訳しています。

詳細については議会事務局へ。

編集後記

6月定例会で広報特別委員会が設置され、懸案であった「あさくち市議会だより」を2年ぶりに発行することになりました。市議会だよりの中断を余儀なくされた経緯をふまえ、広報特別委員は細心の配慮をして今回の編集に携わってきました。

「あさくち市議会だより」を通して議会の審議内容や活動状況の積極的な情報公開を図るため、今後広報特別委員一同鋭意努力いたしますので、市民のみならずには更なるご理解ご協力をお願いいたします。

広報特別委員長

中西 美治



議会だよりは再生紙を使用しています